

さくらフェス、多くの人に来てもらいたい



さくらフェス 2019 みの〜れ 実行委員長
おがわ ぶんた さん
小川 文太 さん

「人のいきいきとした姿が集結したイベント、それがさくらフェスティバルだと思っています！」と笑顔で話してくれた小川さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.141

春の足音が近づいてきました。池花池の白鳥たちも引越しがはじまり、賑やかだった鳥たちも残り数羽になりました。クリスマスローズの花が咲きだし、チューリップや水仙の芽が伸び出してきました。桜の木々も赤みを増してきて、もうすぐ美しい花を愛でることができそうですね。今回は、4月6日(土)に、みの〜れ、芝生広場で開催される小美玉さくらフェスティバル 2019 の実行委員長で、笠間市岩間地区にお住まいの小川文太さん取材します。

さくらフェス

実行委員長、思いを語る

小川さんは茨城大学の2年生。「高校2年生の時、県の女性・若者企画提案チャレンジ支援事業に参加。その時の会場がみの〜れでした。風のホールではメンバーのディスプレイがあり、森のホールでは講演会がありました。当時のみの〜れ職員さんに『文ちゃんもみの〜れに関わってみない?』と声をかけてもらって、ファンピースフェスティバルや、みの〜れ15歳記念オリジナルミュージカル『まんなまるムーン』に関わることができました。高校の恩師の筑内先生が、みの〜れ住民劇団演劇ファミリア Myu のメンバーで、先生は演劇をやっているためか授業を教えるのが凄く上手で、どんどん頭に入ってきました」とみの〜れに関わるきっかけを話してくれました。

また、「昨年は、さくらフェスの野外チーム担当で、いばらきキャンドルナイト代表の井坂勇方さんの力を借りて、ちびっこ達にキャンドルを作ってもらおうというワークショップをやりました。自分でも大学のサークルでキャンドルナイトの代表を務めていて、水戸、大洗、ひたちなか、那珂市、明治神宮外苑などでもキャンドルで灯りを灯しました。イベントの話を持ってきてくれるのは井坂さんで、学生や大人の方たちと一緒に実施しています。キャンドルはお菓子を作るような感覚で作れますよ」と話してくれました。3月9日(土)には水戸借楽園の「夜・梅・祭 2019 第二夜」でも、キャンドルナイトが開催され、大盛況だったということです。

小川さん・さくらフェスの実行委員長は、「やっ」と自覚が湧いてきました。『文太君、実行委員長よろしく!』って言われて『おおっ』って感じでしたが最近はおおっってできました。ここに携わっている人はエネルギーが豊富で、多いのと、みの〜れだからできる事なのかなと思います。今ちょうど春休みなので、昼食を挟んで5時間も会議したりしています。今回のテーマは『体感』なのですが、僕は野外チームなので、自由度の高い物を創ろうと思っています。全然分らないところからいろいろな物を引っ張ってくるイベントなので面白い。自分たちも楽しく、他の年代の人も楽しい、そしておしゃれなイベントを創りたいなと思います。人の生き生きとした姿が結果するところがさくらフェスだと思ってるので、皆さんがほかではできない経験をここでしてもらえたら嬉しいです。多くの人たちに来てもらいたいです」と熱い思いを話してくれました。

4月6日(土)は、みの〜れの館内、芝生広場が桜色に染まり、子どもから大人まで一日ゆっくりと楽しめるイベントを用意しています。暖かな陽気に誘われて楽しくすごしてくださいね。

(藤田 佐知子)